

## 健康長寿に係る先進的な取組事例(概要版)

## 減塩を基盤とした糖尿病性腎症重症化予防

## 事業概要

腎症進展の重要な因子は食塩であることから、塩分に着目した糖尿病性腎症重症化予防を実施。

## ①塩分に着目した特定健診の実施

「早朝尿による尿中塩分量測定(田中の式)」

「塩分味覚閾値検査(ソルセイブ®)」を特定健診検査項目に追加

## ②地区組織(食生活改善会・いきいきサポーター)と協働で、減塩運動を実施

## 事業内容(参加者数・予算等)

## ● 参加者数・予算

800人 60万円

## ● 塩分摂取過剰と塩分味覚低下に着目した特定健診の実施。

減塩指導にあたり、保健師優先介入者を層別抽出

## ● 推定塩分摂取量・ソルセイブ閾値結果を活用した減塩指導の実施

## ● 見える化

推定塩分摂取量・塩分味覚閾値検査の結果を数値化し、本人に返却

町全体の分析結果は、減塩研修会、保健師勉強会、学会(慢性疾患重症化予防学会 学術集会H28.2月 日本糖尿病学会学術集会 H28.5月)等で発表予定

## ● 評価法

減塩指導を受けた者は、早朝尿による尿中塩分測定を再検査。

## ● 減塩料理教室 年間実施回数 12回

## 事業効果

## ● 推定塩分摂取量・塩分味覚閾値の検査データを数値化し、本人にフィードバックすることで、行動変容に結びついた。

## ● 地区組織(主に40~60代女性)の方と協働で取り組むことで、地域の食文化を大切にしたい減塩運動につながった。

## その他

## ● 減塩実践困難者への効果的なアプローチ法を確立することが課題である。